

4 林業にはどんな仕事があるの？

林業の仕事①(木材を生産する)

木は植えてから40年以上育てないと建築用には使えません。その間に、森林の手入れを根気よく続けて良い木材を生産します。大きく育った木は切りたおして木材市場へ出荷します。

木を切りたおした後は、大切な資源しげんが減らないように計画的に苗木なえぎを植えています。



▲植林(山に苗木を植える)
しよくりん なえぎ



▲森林の手入れ
(枝を切って良い木材にする)



▲木を切りたおして丸太にする



▲木材の運搬
(切った木を木材市場まで運ぶ)
うんぱん



▲木材市場
(集まった木材を売るところ)



(木材は加工されて住宅などの建物の材料になる)

林業の仕事②(きのこを生産する)

一年中おいしいきのこを食べてもらうために、森林の中だけでなく、建物の中でもきのこを生産できるよう工夫をしています。

このほかにも、安全で効率よく林業ができるように、山に林道を作ったり、大型の機械を使って、森林の手入れをしたりしています。



▲しいたけの栽培
さいばい



▲なめこの栽培
さいばい

メモ:森林組合について

森林組合は、地域の森林所有者がお金を出し合って作った協同組合で、新潟県には22組合あります。森林組合では林業の知識と技術を持った職員が、組合員の相談に乗ったり、地域の森林を整備したり、木材などの加工・販売を行ったりしています。

⑤ 森林を守るにはどうすればいいの？

森林を守るには、木の成長の邪魔になる雑草などを刈りとったり、こみ合っている木を間引く間伐を行ったりします。たくさんの手入を根気よく続けることで、健全な状態が保たれ、森林の働きが守られます。

これらの取組を仕事にしている人たちだけではなく、都市に住んでいる人や子どもたちが、木を植えて育てるボランティア活動や、森林の大切さを学ぶイベントに参加しています。森林を守るには、各自ができる活動に取り組むことが大切です。



▲草や雑木などの刈り取りのようす



▲間伐のようす



▲手入れされていない森林



▲手入れされた森林



▲子どもたちが木を植えるようす



▲森林の大切さを学ぶイベントのようす